



東村山市民テニスクラブ協議会機関紙

発行責任者 柳 利夫
住所 東村山市萩山町5-6-26-301
Tel. 0423-92-8808
編集者 川村 英明

「市民テ 創立8年目を迎えて」

協議会会長 柳 利夫

1973年5月3日、この日が私たちの市民テニスクラブの創立日です。以来7周年を教え、8年目に入ることになりました。

当初僅か6人が集まり東住クラスとして発足した市民テでしたが、別にこちらから募った訳でもありませんでした。この間入会希望者が急遽に増え当初の東住クラスだけでは運営しきれなくなり、2年後には恩多クラスが、続いて本町クラス、青葉クラスと、昨春には美住クラスが創立され、現在の市民テは皆さん存知のように5クラス・会員総数310名の大世帯です。(この7年間に転居・転勤等の理由で16名の方が辞めています。)

今日にみる私たちの市民テの組織運営をこれまで以上により良くし、さらに発展させていくうえで会員各位のさまざまな力を添えと日毎善段の努力を改めてお願いします。

そのために日頃コートで話している、お互いの当初の約束事である ①名札をつける ②挨拶をする ③出席簿に自署する ④コート整備をして帰る ⑤早退をする時にはあらかじめその旨を申し出る……。これらの事柄を日常お互いに確実にやり切っていくなかでこそ、いづれ楽しいテニスができ、本当の仲間が増えていくのだと思います。

私たちの市民テは男女が相半ば、年齢9才～70才、男子の平均年齢・37～8才、女子のそれが・34～5才、家族会員が全体の半分以上というファミリーな文字通りの地域に根ざしたテニスクラブです。

8年目を迎えた現在、今後とより楽しくテニスができ、そこで得た仲間たちと一緒にさらに住み良い町づくりをめざして共に頑張っていきたいと思えます。

「市民テ」8年目を迎えて望むもの

協議会相談役 浦川 親俊

市民テも8年目を迎えて何と望むかとの問いに、何と答えてよいかわからぬらいました。というのは、市民テとしては誠に盛衰を繰り返しているからです。

クラス別の定期練習も安定化しジュニア教室、合宿、練習機具の整備、外部指導者によるコーチ等そして会員数320名の大世帯を擁しながら限られたコートも最大限に利用し技術・広報・財政が一途となり努力、組織運営の妙も得てフル回転の言ふことなしの勢です。強いて答えを出せと申されるなら、①会員のひとりひとりが自分のクラスをよく作るのだからということも忘れぬこと ②いづれお世話して頂く技術部員の練習量をもっと増して頂きたく多少の経費増は良策ののではないかと ③中級の方々は技術部の方針通り試合を通じた技術戦略の体得の機会を多くして頂くこと。

次は夢ですが、シャワーのあるクラブハウスでテニス談話etc. 出来たらなあ。宝くじが10本当りはいと駄目です。

かね。いや望みぬきにあらず、スポーツ都市宣言の東村山市がスポーツ宝くじを発行しこれを運動施設に使用する。とうです名案名案、万才万才。(恩多クラス)

ブリヂストン女子ダブルスを観戦して

協議会相談役 阿辺川 貞夫

かねてから本物を見たいと思っていましたとまろ、浦川さんから誘って頂き、1時間前から入場して練習風景を見ました。

テレビとは全く違い、打球の早いこと、ネットすれすれの球ばかり、折れそう腕のどこにあんな力があるのか不思議で、さすが世界チャンピオンの質素充分、本番は準決勝2、順位決定戦2、計4試合、7時間半観戦して退屈しませんでした。型は決って居るかのよう、全部ネットプレーですが、少し後方のサービスライン1m位前に4人共同位置で守っていました。ボレーボレーで返球されて来た球に距離の余裕があるのと、足元に打込まれ球をハーフバンドで返せる位置かと思えます。また、ロスもスマッシュで返す時、サイドに打込むことは少なく、ほとんどセンターに入れましたが、安全で有効なコースかと思いました。

世界一流選手16名出ましたが、いずれも基本的に忠実であるかのよう、スタンスはオーソナルに、フットワークが良く、テークバックは小さく、フォロースルーは大きく、打った後のかまえが早いこと、職業プレーヤーとはいえ見事な試合でした。(本町クラス)

決定 夏期合宿 7月 25, 26, 27日

＝ 夏合宿へのおきそい ＝

恒例の夏合宿を今年は、太田先生の故郷の新潟県の柏崎で持つことになりました。

本年は太田杯争奪柏崎戦が柏崎で行われることもあって、その日程と合わせて私達の合宿もそちらで行うことになりました。丁度その頃は、柏崎の海も海水浴にはもってこいのシーズンの上、名物の大花火大会も開かれるそうです。遠く佐藤を見わたす紺碧の空の下きれいな海辺で家族共々海水浴も楽しめる家族ぐるみの合宿にはもってこいの場所といえましょう。

柏崎のみねさんも今から私達の来るのを楽しみにしているとのこと。宿の方も先方のお骨折りで海辺に近い柏崎きっての歴史ある旅館を手配して頂いております。市民テの皆さん、奮って御参加下さい。電車の切符の手配など準備に時間が必要ですので、今年は早目に参加者を掌握したいと思えます。申し込みは、下記の期間中にコートにはり出してあります申し込み用紙に氏名を記入して下さい。(どうしてもコートにこれない場合は、苅谷サソまで電話で連絡してください。)

◎ 合宿の要項は、裏のページにのっています。

私とテニス(連載)

早いもので市民テでお世話になって、まもなく2年になる。市民テ以前には民間クラスに入っていたのが、市民テの雰囲気の良さにそちらの方はお留守になり、今ではもう行かなくなりました。

私をはじめテニスを握ったのは、中学生の頃で当時住んでいた中野区のテニス教室へ入った時で、何故その頃そんな気持ちになったのか今でも思い出せない。なにしろ、小、中学校と体の弱かった上に運動が大の苦手であり運動会の徒競走はいつもビリであったのだから……。

とにかくそんな気持ちで始めたテニスも2~3日でやめてしまった。そのまま続けていけば今ごろもう少しましになっただけではないかと思えば残念な気がする。それから長いスラックがあって、次にラケットを手にしたのは今の職場に入ってからで、たまたまコートがあったからというのが始めた動機になっている。その時も昼休みに時々遊ぶ程度であった。それからほとんど毎日やるようになったのは5~6年前で健康診断で毎年体重がふえ続けていることに気付いた頃であった。私の父は今もそうでもないかなりの肥満体で小さい頃から「ああカッソス悪くはなりたくない。」と思っていただけに肥るのを抑えるのに必死になった。不思議なものでそうして毎日やっている内にテニスの面白さにとりつかれテニキチの一人になってしまった。このようにしてとりつかれたテニスが、一向に飽きあからない。

今から3年前、何時も大会で1回戦か2回戦で敗れる職場の友人と集って「何とかカッソスを手にしたらい」と相談し皆カッソスを買って回り持ちにしてみだが、全然嬉しくない。(あたりまえだ)それからカッソスはすっかりあきらめて毎日何かの目標を決めて練習するよう心に決めだが、これを時々うまくいかない。相手のボールが来る時は何時も頭の中で「ボールを見ろ、ボールを見ろ。」と言い続けているが、いさボールがネットを越えたりはすっかり逆上してボール以外のものはかり見ている事になる。

ウチのカミさんには「スタートが速い! テークバックが遅い! 面が決まっていない! etc.」と厳しくなっているが、これらは全部自分に対する反省であって、昨日のいさかいの仕返しをしているのではない。

まったく「言うは易く行うは難し」の諺通りである。もう年も年なので(本文が出る頃にはついに40台に入る)目標は決まらずに1つだけにしほっていきこうと思ったり、もう年も年なので今の内に色々やっておかねばという気持ちで毎日奮闘している。ともあれコートに出たボールを打てば気持ちをスカッとしてしまうのだから平和なものである。

今後市民テの皆さん、よろしく願います。

要 項	
1. 月 日	7月 25(金), 26(土), 27(日)の2泊3日
2. 費用	大人(一人) 18000円程度 小人(一人) 12000円程度(小学生以上)
3. 内 容	テニス、海水浴、市内見物、柏崎市の人達との交流、その他詳細は後程決定します。
4. 募集人員	大人 約30人 小人 約20人
5. 申し込み締切日	5月 11日(日) (人数により次第締切ります。)

広 報 部 より

“自己紹介”欄を設けます——全員の協力を!

いさかかなりとも会員の親睦につなげるようにと、別項のように“自己紹介”をしていただくことになりました。

まず広報部員が率先して書いてみました。これを参考に、この号と共に配布される用紙に、全員の方が記入して、5月25日(日)までに、3番コート近くのフェンスに掛けてある「質問・投書箱」に投函してください。コートに来られない方は、下記宛先で郵送してください。
〒189 東村山市本町1-11-76 佐藤多喜男行

“自己紹介”は次の順序で書いてあります。

1. 所属クラス 氏名 男・女 生年月日(又は誕生日)
2. 出身地(その特徴)
3. 家族構成
4. テニス歴
5. 他のスポーツ(現在又は過去にやった)
6. 趣味
7. 自分の特徴
8. 今年の目標または期待(テニスに限らない)

No. 1 (川村広報部長)

1. 東住ク 川村英明 男 昭和一桁誕生(日生)
2. 東京(目黒不動尊の近く)、戦災で土浦にて成長
3. 男3人に紅一点の男天国
4. 5年
5. 特になし
6. 音楽(歌わない。ベートーベン、モーツァルト、ハイドンが特に好き)。ハイキング。博物館・美術館歩き。
7. 「ケ(毛)かない」歳のはずなのに、年中膝を痛めてサポーターがトレードマーク。
8. 欲するところに貸い、迷いに迷うこと。

No. 2 (佐藤広報副部長)

1. 本町ク 佐藤多喜男 男 38才
2. 山形県
3. 妻十子とも2人
4. 2年半
5. 柔道
6. 特になし
7. 本町クラスから僕が初の技術部入りすること。(ナンチャッテまるっきり無理ですなあー。)
8. 記入なし。



No. 3

1. 青葉ク 長谷川順三 男 昭和14年8月16日生
2. 東京 高田馬場、戸山が原練兵場跡の三角山で少年時代をすごしました。
3. 妻1人、娘2人、息子1人の5人家族
4. 10年余
5. 特になし (職場対抗のソフトボールにときどき参加)
6. テニスオンリー、1973年70日間世界一周旅行でウインズロンドン大会のNo.1コートにクラブ屋に10ポンド払って観戦した興奮が今だに忘れられず、再び訪れる日を待たのぞんでいます。
7. 何事に対しても、たえず努力を怠れない姿勢の持ちぬし?
8. 年今にめはず、春か秋のテニス大会でダブルス優勝の誉にかかやくこと(無理ですなあー。娘の言)